

会場規模を1.5倍に拡大し第2回開催

物流展も同時開催

イッセー

[九州]半導体産業展
事務局長

森嶋 勝利 氏



「九州」半導体産業展が、10月8～9日にマリンメッセ福岡で開催される。第2回となる今年の開催は、前回の盛況に対応し、昨年同様マリンメッセ福岡のB館に加え、A館にも会場規模を拡大した。第2回九州半導体産業展における注目点について、事務局長の森嶋勝利氏に話を伺った。

——初開催となった前回の振り返りから。

森嶋 昨年は2日間の来場人数が約73000人で、目標としていた50000人を大きく上回った。セミナーの受講者数も募集人数を超えるほど多数の申し込みをいただき、大変盛況で想像以上の成果を得ることができた。また、交通面などの経済効果も得られたと考えている。

来場者は半数以上が福岡県外からの来場で、地方の展示会としては珍しい結果となった。九州の半導体産業に全国から注目が集まっているのだと実感した。

——一方、改善点や反省点などについては。

森嶋 やはり会場面だ。想定以上の出展申し込みをいただいたためレイアウトなどを調整して出展社数を拡大したが、来場者の休憩スペースなどを十分に用意できなかった。また、出展希望にお応えできなかった企業も多く、ご迷惑をおかけした。こうした反省を踏まえ、今回は昨年会場となったB館に加え、A館の半分も会場として拡大して実施する。出展社数を増加できるほか、A館にはイベント時に使用する観客席があり、そこを休憩スペースなどに活用する予定だ。

——今回の出展社数は。

森嶋 昨年の1.5倍となる全400社の企業に出展いただく。昨年、完売によりお断りとなった企業のほか、昨年来場していただいた方や昨年の盛況を知って出展を希望してくださるケースも多数である。

今回、会場を拡大することで出展社数を増やすことができたが、まだ出展希望の数に対応できておらず、今回はさらに規模を拡大させる予定だ。



第1回の会場風景

森嶋 昨年同様の2つのテーマを設けてプログラムを構成している。1つは九州の情報をもっと届けること。九州・沖縄地銀連携（Q-BASS）や九州の半導体産業業界として九州半導体・デジタルイノベーション協議会（SIIQ）やくまもと半導体グリーンイノベーション協議会などから登壇いただく予定だ。2つ目は日本全国、世界の情報を九州に届けるということだ。熊本大学の若林秀樹教授や、熊本県立大学理事長兼福岡半導体リスキングセンター長の黒田忠広氏などに講演いただく。また、今回新たに広島県商工労働局半導体産業課長の吉原渉平氏とマイクロメモリ ジャパン（株）代表取締役の野坂耕太氏による共同講演も実施する。来場者の地域範囲が広いことを踏まえ、九州から広島県までエリアを拡大した。

講演数は昨年よりも増やしており、2日間で全27講演を用意した。また、講演スペースも昨年より広く用意しており、参加希望もすでに多数いただいている。——学生に向けた施策は。

森嶋 昨年、高専の授業の一環として団体に来場していただくケースがあり、今回も数校で実施予定だ。授業の1つとして組み込んでいただけるほどに学生にとって有意義なものであるのだと認識いただいた結果だと実感している。今後、こういったモデルを増やしていきたい。

——次回以降の開催は。

森嶋 26年9月30日～10月1日に第3回の開催を決定している。昨年同様、今年もスペースが足りず、出展希望をお断りしてしまう事態があり、今回はさらに開催スペース拡大のため、マリンメッセ福岡のA館、B館に加え、博多国際会議場も会場に追加し、2会場構成に挑戦する。会場間を移動するチャーターバスも手配する計画で、来場者の利便性も確保する。

また、今回の九州次世代物流展は別の会期で実施し、九州次世代エネルギー展を同時開催する計画だ。出展社、来場者ともにさらなる増加となることで、より大規模な展示会になるだろう。九州での展示会のニーズを感じており、九州半導体産業全体の盛り上げに貢献していきたい。

（聞き手・日下千穂記者／厳智鍋記者）

第2回 **九州半導体産業展**
Semiconductor Technology Expo in Kyushu, Japan

第2回は規模を拡大して実施

